

天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

校長 山中 喜宏



毎日暑い日が続いています。いよいよ7月に入りました。

4月に新たな学年で新たな仲間とスタートし、たくさんの学校行事があり、忙しく過ぎた1学期もまとめの月となりました。あとわずかで夏休みです。そのことを楽しみにしながらも、残りの期間、気持ちを引き締めて、学習や部活動などに集中して取り組んでいきましょう。

暑い中での学校生活となります。水分の適切な補充と気候に合った服装での体温調整を行い、熱中症に気を付けていきましょう。

たくさん情報を集めよう！

本館東側2階の壁面に、たくさんのポスターが貼ってあります。

これらは、三重県内外の高等学校などが、この夏休みに実施する学校説明会や体験講座の宣伝ポスターです。

3年生は、2学期末には高校進学のため、受験する学校を決めていく必要が出てきます。「まだ先のことだから」と先伸ばしするのではなく、こころにまだゆとりのある夏休みに、少しでも興味のある学校の説明会などに参加して、高等学校等の情報収集をしておくことをお勧めします。

なお、申し込み締め切り等については、高校受験を自分事として捉え、進路担当の先生からアナウンスされる連絡を聞き逃すことのないように気を付けていきましょう。



先生たちも日々勉強に励みます

以前、学校だよりで、国の「リーディングDXスクール事業」について記事を書きましたが、6月30日(月)に、この事業の一環として、講師先生をお招きし、本校の先生方が天栄中学校区の先生方に授業を公開し、事後検討会を行うとともに講師先生のご指導やご助言をいただきました。

今回は、天栄中学校区の小学校の先生方以外にも教育委員会事務局の方々にも参加していただき、日ごろの実践について、各先生方から幅広くご指導やご助言をいただきました。

本校の研究主題「つながりを大切にして、自ら学び続ける生徒の育成」に迫る授業ができているか、



生徒同士がつながりの持てる協働課題の設定ができていたか、効果的に端末を活用した授業ができていたか、など活発な議論と講師先生からの的確な助言をいただきました。

今回の事後検討会の議論を受け、子どもたちがつながりを持ってより深い学びができる授業が実践できるように、教員も学び続けていきます。

いざという時のために....

7月1日(火)、2年生で救命入門コースの授業を行いました。

いざ、という時のために胸骨圧迫による心肺蘇生法を教えてください、実際に5分間人形を使って実習したり、各施設に設置してあるAEDの使い方についても教えていただいたりしました。

もし、倒れている人を見かけたら、どのように行動すればいいのでしょうか。救急車をすぐにも呼んでも到着までに平均でおよそ10分かかるといわれています。救急隊到着までにその場に居合わせた人が救命措置をすると、何も処置しなかった場合と比べて助かる可能性がおよそ2倍、AEDを使用した場合、助かる可能性がおよそ4倍になるといわれています。

“いざというとき”はないほうがいいですが、もし、“いざというとき”があったら、教えていただいた心肺蘇生法とAED、そして119番で救急車を呼んでください。



中体連がんばりました

このたよりが発行される時点での中体連の結果をご報告します。

子どもたちは、悔いなく全力で試合に臨んでいました。お疲れさまでした。県大会に進む部活動については、次に向けて、これまで積み上げてきた練習の成果を再び発揮できるようにこころとからだをしっかりと整え、全力で試合に臨んでいきましょう。

<6月28日(土)、29日(日)の結果>

- ソフトボール 優勝 ⇒ 県大会出場 (7月26日(土)から)
- ソフトテニス 団体の部 第3位
- 卓球男子 団体の部 第3位 ⇒ プレーオフ出場
- 卓球女子 団体の部 第3位
- バスケットボール男子 1回戦勝利 2回戦惜敗
- バスケットボール女子 1回戦惜敗

